



THIS IS
MECENAT
2019

茂木町には以前指揮者として合宿に伺いましたが、
ヴァイオリン弾きとしては初めてです。
皆さんと音楽でときめき、そしてその喜びを分かち合いたいです。



ヴァイオリン 齋藤 真知亜



ヴィオラ 坂口 弦太郎



チェロ 宮坂 拓志



ピアノ 安宅 薫

©H.Ikezawa

ま ち あ
真知亜@nakama.

～楽器の魅力～

2020.2月11日(火・祝)

開演 14:00 (13:30開場)

会場 茂木町民センター別館ホール

住所 栃木県芳賀郡茂木町茂木151

料金 全席自由 一般 1,000円 高校生以下 500円

※未就学児の入場はご遠慮ください。(託児あり。要事前申込)

※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。

※本コンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により特別料金に設定しています。

お問い合わせ 茂木町民センター (土日祝を除く8:30~17:15)

チケット販売 ☎0285-63-1137 (2019年12月2日(月)~販売開始)

プログラム

[ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ]

●J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲より アリア、終曲

[ヴァイオリン・ピアノ]

●E.エルガー:愛のあいさつ

●J.マスネ:タイスの瞑想曲 ほか

[ヴィオラ・ピアノ]

●G.フォーレ:夢のあとに ほか

[チェロ・ピアノ]

●C.C.サン=サーンス:組曲《動物の謝肉祭》より 白鳥

●D.ポッパー:ハンガリー狂詩曲 Op.68 ほか

[ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・ピアノ]

●J.ブラームス:ピアノ四重奏曲第1番 Op.25より 第4楽章

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催/茂木町・茂木町教育委員会・栃木県・(公財)三井住友海上文化財団

三井住友海上文化財団 ときめくひととき 第863回

このコンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により開催しています。



ま ち あ 真知亜@nakama. ~楽器の魅力~

Profile



ヴァイオリン 齋藤 真知亜(さいとう まちあ)

1962年東京生まれ。1985年東京芸術大学を首席で卒業。同年芸大オーケストラ定期演奏会のソリストに選ばれる。NHK新人洋楽オーディション合格。1986年NHK交響楽団に入団。1999年からはリサイタルを毎年開催し、様々な楽器との共演を主とした「Viologue」、協奏曲を中心とした「Biologue」、現在はアルファベットの「Dialogue」その独特なプログラミングや演奏スタイルは、回を追う毎にファンを増やしている。2006年より東京音楽大学の教授陣と共に弦楽四重奏団「Quattro Piaceri」に参加。ショスタコーヴィチ全曲演奏を中心とした活動は、各方面より注目を集め、2010年に「第65回文化庁芸術祭音楽部門大賞」を受賞した。2007年よりNHK交響楽団のメンバーによる「ヴィルトゥオーゾカルテット」を結成し、バルトークの弦楽四重奏全曲演奏を完遂。西崎信二、奥田富士子、兎東龍夫、海野義雄、二村英之、山口裕之の各氏に師事。2018年12月までNHK交響楽団第一ヴァイオリン・フォアシュペーラーを歴任。現在、同楽団第一ヴァイオリン奏者、東京音楽大学兼任准教授。また、ジュニア・フィルでは指揮者として若者の育成に力を注いでいる。TARUGAレーベルより「シェーンベルク/月に憑かれたピエロ」、SUGIレーベルより「ザ・ビートルズ・オン・ストリング・カルテット」、「弦楽四重奏による<ドラゴン・クエスト>」、キングレコードより「クワトロ・ピアチェーリ」、マイスターミュージックより「ベートーヴェン弦楽四重奏曲15&大フーガ」「ゴールドベルク変奏曲」を、又「モーツァルト：レクイエム弦楽四重奏版」では、その編曲も手掛け、各方面より好評を博す。「ゴールドベルク」と「レクイエム」はオーディオファイルのサイトにて優秀録音に評されている。2017年にはモーツァルトのクラリネット五重奏と協奏曲がリリースされたが、この協奏曲でも「五重奏版」への編曲を手掛け、注目されている。



ヴィオラ
坂口 弦太郎(さかぐち げんたろう)

NHK交響楽団ヴィオラ奏者。大阪府堺市に生まれ、3歳よりヴァイオリンを始め17歳でヴィオラに転向。東京芸術大学音楽学部器楽科ヴィオラ専攻、同大学院音楽研究科修士課程器楽室内楽専攻(ヴィオラとピアノの二重奏)修了。第9回日本室内楽コンクール第3位入賞。(原田恭子:pfとの二重奏)奨励賞受賞。オーケストラの他に「アベルト弦楽四重奏団」、「N響メンバーによる室内楽団」のメンバーとして、また様々なプロオーケストラへの客演首席、TV、ラジオ出演、アーティストのサポート録音などジャンルの垣根をこえての演奏活動、ヴィオラの伝道師としてその魅力の啓発活動も行なっている。



チェロ
宮坂 拓志(みやさか ひろし)

1982年東京生まれ。5歳よりチェロを始める。これまでにプロジェクトQ、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、小澤征爾、ロストロポーヴィッチの各氏によるコンサートキャラバン、宮崎国際音楽祭等に出演。エルンスト・オッテンザマー、ラリー・コームズ、フォルクハルト・シュトイデの各氏と共演。桐朋学園高校音楽科を経て同大学を卒業。その後N響アカデミーを経てNHK交響楽団チェロ奏者。2010年アフィニス文化財団の海外研修員としてミュンヘン音楽大学へ留学。チェロを木越洋、堤剛、ウェン=シン・ヤンの各氏に師事。



ピアノ 安宅 薫(やすみ かおる)

桐朋女子高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽部ピアノ科卒業。弦楽科、声楽科伴奏研究員修了。石岡久乃とピアノデュオ「プリムローズマジック」を組み、西村朗氏の「波打つ影」を初演してデビュー。イタリア、シエナのキジアーナ音楽院でR.プレングラ氏に師事し、ディプロマ名誉賞受賞。イタリア、トリエステのセルジョ・ロレンチ国際室内楽コンクール第2位入賞。アイルランドのダブリン・コークにも招かれた。国内ではリサイタルの他に、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、神奈川フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団等各オーケストラと共演。中でもジャン・フルネ指揮東京都交響楽団とのプーランクでは、フランス音楽の大家である氏のサポートのもと名演を聴かせた。また、パイヤール室内管弦楽団のソリストとして、全国12カ所のツアーにも同行した。CDの録音も多く、「動物の謝肉祭」「くるみ割り人形」「ウエストサイドストーリー」など9枚をリリース。羽田健太郎氏より「これまでの2台ピアノの枠を超えた大変楽しめるアルバム」と絶賛された。様々な楽器のソリスト達との共演も多く、レコーディングにも参加している。最近では、TVドラマ「のだめカンタービレ」の録音、のだめ役の上野樹里の演奏指導、全国のだめコンサートにも出演している。現在、桐朋学園大学付属「子供のための音楽教室」講師。オーケストラジャパン団員。Disney on classic の全国ツアー、オリンピックコンサートに出演している。